

研究分野のキーワード：球技，ボール運動，ハンドボール，投動作，スポーツ教育

研究紹介

みなさんは、体育の授業が好きですか？体育の授業では、様々な運動を行います。様々な運動の中でも得意なものもあれば不得意のものもあるかと思います。そんな得意な子、不得意な子の両方が体育の授業を好きになるように学習内容を合理的に学習する方法について研究をしています。特に、みなさんが学校の体育の授業で行っている様々な運動の中でも「球技」や小学校の「ボール運動」に関する研究を行っています。

「球技」は、サッカー、バスケットボール、ハンドボールなどの「ゴール型」、バレーボール、バドミントン、卓球などの「ネット型」、ソフトボールなどの「ベースボール型」に分類されています。この型による分類は、攻守の特徴や型に共通する動きを系統的に身につけるという視点から整理されています。簡単にいえば、ゴール型を例にすると、ハンドボールで身につけた動きが同じ型に属するバスケットボールやサッカーにも生かされるということです。これらの共通する動きをどのようにすれば合理的に学習できるかということが研究の課題です。

授業での学習内容が示されている学習指導要領では、高校生で「球技」を学習するまでに、「球技」に関することを小学校、中学校の体育の授業で様々なことを学習することになっています。小学校では、的当てなどのボールゲームや鬼ごっこなどのゲームや易しいゲームとしてルールを工夫して簡単なハンドボールやバレーボールなどを基にしたゲームやボール運動を行います。中学生になると「球技」としてハンドボールやバレーボールを行います。これらの学習内容は、その年代に適したルールで段階的に学習できるようになっています。みなさんは、小学校の3年生の児童にゴール型に共通する動きを身につけさせるためにどのような易しいゲームを行えば良いと考えるでしょうか？このようなことを児童の動きの特徴などを踏まえて考え、実際の授業で実践して効果を検証していきます。

また、ハンドボールの投げる動作の研究も行っています。ハンドボールにおいて合理的な投げる動きとは何かということが研究の課題です。右の図は三次元動作解析で行った研究のものです。三次元動作解析では、関節の角度や速度など各局面でどのような動きを行っているかということを調べることができます。

他にも様々な研究分野が体育にはあります。みなさんも未来の子供のために体育を科学的に研究してみてもはどうでしょうか？

